

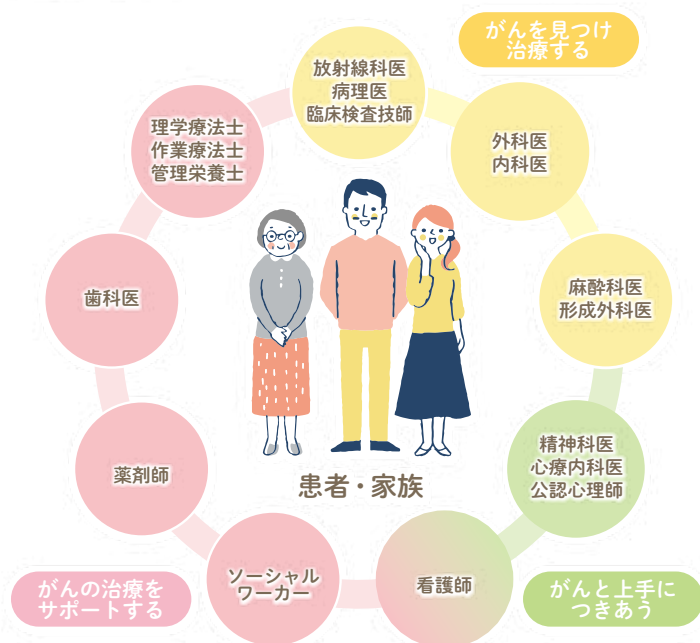
緩和ケアセンターのスタッフ

たくさんの専門家が、
ひとりの患者さんを
支えています。



院内サポート

近大病院内の専門家がサポートします



院外サポート

近大病院外の専門家と連携しています



「体のつらさ」や「心のつらさ」を和らげ患者さんやご家族にとって可能な限り良い生活の質 (Quality of life) を実現するために院内・院外の医療者と連携してサポートしていきます。

緩和ケアセンター

緩和ケアとは

身体や心のつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのことです。
がんと診断されたときから受けられます。

問い合わせ先

☎072-366-0221 (内線3878)
受付時間: 月～金 9:00～16:00

緩和ケア外来 完全予約制

当院外来通院中の患者さんが対象です。身体や心などのつらさに対応します。

※主治医からの紹介が必要になりますので、まずは主治医や外来看護師にご相談ください。

場 所 緩和ケア外来(受付:3607)

外来日時 月・火・水・木曜日 9:00～17:00

緩和ケアチーム

当院で通院入院している患者さんご家族が対象です。
がんの告知時から医師、看護師、薬剤師、公認心理師、理学・作業療法士、社会福祉士、管理栄養士などが連携し様々なつらさを和らげるためにサポートします。

※チーム介入をご希望の方は、主治医または看護師にご相談ください。

費 用 医療保険の対応となり、1割負担390円/回、3割負担1,170円/回の費用がかかります。

高額療養費制度が適用されます。

緩和ケア看護外来

緩和ケア認定看護師が緩和ケアチームが担当した患者さんを退院後にフォローする外来となります。

場 所 患者支援センター窓口へお越しください
看護外来の変更は内線3878にご連絡ください

対応日時 月～金曜日 9:00～17:00 (最終受付16:00)

費 用 医療保険の適応となり、1割負担200円/回、3割負担600円/回がかかる場合があります。

かんわ 緩和ケア センター

がんと向き合う
あなたを支えます

私も家族も
サポートして
もらえたわ

がんと告知された時から
利用できるんだね



緩和ケアはがんの治療ができなくなってから始めるものではありません。体や心のつらさが大きいと、体力の消耗につながり治療を続けることが難しくなってしまいます。「様々なつらさをやわらげる＝緩和ケア」をつらさを感じた時から始めることが大切です。

がんと診断されたときから様々なつらさを和らげるために、 緩和ケア外来・緩和ケアチーム・看護外来をご利用ください。

がんの専門資格を有する医師・看護師、ソーシャルワーカーをはじめとする
多職種がお困りごとに合わせて院内外の医療職と連携してサポートします。

● 身体のつらさ

医師・薬剤師・看護師が対応します。

● 精神のつらさ

医師・看護師・公認心理師が対応します。

● 生活の不具合

看護師・ソーシャルワーカーが対応します。

● 情報が無い事による不安

看護師が対応します。

それぞれのつらさに
サポートします。



進行の時期

- 治療の副作用が辛い
- 痛みが出てきた…
- 再発と言われて告知の時より辛い
- 買い物に行けなくなった
- お風呂場に手すりがあればお風呂に入りやすい
- 今度の治療はつらいのか不安
- 家族のサポートをしてほしい

告知の時期

- まさかがんなんて…
- 家族になんて言おう
- つらい…。これがずっと続くの？
- 病気のことが頭からはなれない
- がん向き合えない
- 仕事や学校はどうしたらいいの？
- 妊娠できるのかな？
- パートナーになんて言おう…。
- どんな症状が出るの？
- 痛くてがまんできない

手術や化学療法

- 術後の痛みが続いている
- 治療の副作用が辛い
- 痛みが出てきた…。
- 手術が不安で眠れない
- 通院以外の日はどう過ごしたら良いの？
- 気持ちの切り替えができない

これからのこと

- できるだけ痛みを取ってほしい
- 気持ちが耐えられるか心配
- 治療を受けながら自宅で苦痛の緩和をしてほしい
- 自宅の近くで緩和ケアができる病院を探してほしい

再発

- 痛くてがまんできない
- 再発と聞いてつらい
- 家族になんて言おう
- つらい…。これがずっと続くの？
- 病気のことが頭からはなれない
- 緩和ケア病棟を見学したい
- どんな症状が出るの？

経過観察の期間

- 再発が心配…
- 調子が戻らず仕事が大変
- 術後の痛みが残っている
- 日常生活の不安

CHECK!



詳しくは緩和
ケアセンター
のホームページ
をご確認ください。